

平成30年度

事業計画及び収支予算書

一般財団法人大村市文化・スポーツ振興財団

目 次

1 事業計画	1～4 頁
2 収支予算書	5～9 頁

1 事業計画

平成30年度は、大村市体育文化センターの開館20年となり、更に愛される「シーハットおおむら」となるように、管理運営の充実と利用促進を図ります。また、大村市体育施設8施設を古賀島スポーツ広場を含めて新たに指定管理者として受ける初年度であり、管理運営の充実と利用促進を図ります。

管理委託業務として大村市総合運動公園と大村市松山テニスコートを受けるので、利用の安全管理と良好な利用環境の確保を図ります。

自主事業については、広くスポーツや芸術文化の振興を図り、多様で豊かな魅力あるまちづくりや心身の健全な発展に寄与する事業を実施します。特に、大村市体育文化センターの開館20周年を記念して、市民とともに作る市民ミュージカルを実施します。

また、施設管理を行う上では、施設の安全管理はもとより、公平性を維持しながら弾力的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、管理業務を通じて取得した特定個人情報や個人情報の保護の徹底や関係する法令、条例、規則等を遵守した適正な管理運営を行います。

1. シーハット感謝デー事業（継続事業）

公益目的事業として、「シーハット感謝デー」を実施します。

平成30年度は8月11日を予定しており、市民の方々にスポーツや芸術文化に触れたり、楽しんでいただくイベントを企画します。施設を利用されている団体には、日ごろの活動の発表の機会も提供します。

また、新たな催し物を企画し、多数の市民に来館していただくことで「シーハットおおむら」の利用促進に努めます。

2. 大村市体育文化センター指定管理業務（受託事業）

さくらホール及びメインアリーナの施設利用者との協議による調整を行い、効率的な運営に努めます。また、大村市中央公民館と連携し、施設の有効利用を図ります。

全国、九州大会の開催時には、実施競技に対応した運用を円滑に実施し、安全で快適な利用環境の提供に努めます。

開館から20年が経過した施設機能維持のため、大村市と協議した改修等が円滑に行えるように連携を行っていきます。また、施設・設備の安全確保のために、定期的な安全点検や修理等で適切な維持管理を行います。

公平な利用の確保に努め、運動器具・備品の点検整備を行い、利用者の安全と快適性を維持します。また、火災等の緊急時を想定した訓練を実施します。

3. 大村市体育施設 8 施設指定管理業務（受託事業）

大村市陸上競技場、大村市野球場及び大村市古賀島スポーツ広場等の屋外 8 施設の整備と予約、問い合わせ等を一体的に管理することにより、利用者の利便性の向上を図り、快適にスポーツを楽しむように施設の機能維持に努めます。

安全・安心を確保し、事故を未然に防ぐために日常点検を確実にを行い、緊急を要する修理は速やかに実施することで、施設設備の維持管理や快適な利用環境を維持します。

市民の健康維持やスポーツ活動の活性化のために、施設の管理業務を通して、スポーツの振興に寄与するとともに、大村市や大村市体育協会等と連携し、利用促進を図ります。

4. 大村市松山テニスコート管理委託業務（受託事業）

大村市小路口のテニスコートの閉鎖に伴い新設された大村市松山テニスコートの管理委託業務を受けるので、利用者の安全確保を図るとともに、良好な利用環境の確保のために適正な管理業務を行います。

5. 大村市総合運動公園管理委託業務（受託事業）

ソフトボール・軟式野球その他多目的に利用できる「運動広場」と、グラウンドゴルフやゲートボールなどの競技も実施できる「グラウンドゴルフ場」の施設であり、利用者の安全確保を図るとともに、良好な利用環境の確保のために適正な管理業務を行います。

6. 自主事業（受託事業）

スポーツ事業と文化事業の二つの柱で、多様な市民の要望に応じて幅広いジャンルの事業に取り組み、これまで以上に市民に喜んでいただけるよう努めてまいります。

① 「スポーツ事業」— 大村市体育協会等と連携し、スポーツの普及振興を図ります。

まず、子供たちがスポーツに親しめる環境づくりをテーマに、幼稚園児から小学生までを対象にした各種教室を開催します。近年人気が出ている「キッズ・チアダンス教室」、楽しく敏捷な身体を作る「キッズ・スポーツクラブ」、速く走るコツを伝える「夏休みかけっこ教室」を継続して開催します。

本年度から新規の取組として、リズムやバランスなどスポーツの基礎になる部分が鍛えられるなわとびに着目し、「キッズ・なわとび！」を開催します。

また、「ストレッチ教室」や「50歳からのいきいき運動教室」を開催し、中高年の健康づくりにも寄与します。

さらに、東京オリンピック競技として人気が高まる「スポーツクライミング」を西日本クライミング選手権「シーハットカップ2018」として本年度も開催します。

② 「文化事業」— 多くの市民に多様な舞台芸術に触れる鑑賞機会を提供する「鑑賞型事業」と、地域から発信する文化力向上につながる市民ミュージカルや長崎OMURA室内合奏団との連携企画等の「プロデュース事業」を実施します。

・鑑賞型事業 — 今もっともチケットが取れない落語家「立川談春」の独演会、前年度さくらホールが満席となり人気の「ハウステンボス歌劇団 大村公演」や、泣き歌の女王としてテレビでも話題のシンガーソングライター「半崎美子」のコンサート、恒例の「大村寄席」では落語・漫才・紙切りと寄席演芸の魅力が満載です。「名作映画上映会」では日本映画の名作を上映し、邦画ファンの満足を高めます。

・プロデュース事業 — シーハット開館20周年記念の市民ミュージカル「時間よ、生まれ！」の公演を実施します。演技や歌だけでなく、なわとびやボールを使ったパフォーマンス、不要品で奏でるパーカッションなどを取り入れ、楽しくてワクワクするエンターテインメント性の高いミュージカルを提供します。

また、県内初のプロ・オーケストラ「長崎OMURA室内合奏団」と連携した定期演奏会をはじめ、初の福岡公演に先立ち市民に無料で「公開リハーサル」を行い、優れたクラシック音楽の鑑賞機会を提供します。

本年度も「ミュージックキャンプ」を開催し、弦楽器を勉強している子供たちを集め、一流の講師による指導とキャンプ最終日にその成果をさくらホールで発表してもらい、音楽を志す若い芽を育てます。

①自主事業(スポーツ事業)

	事業名	開催期日	場所・会場	内 容
1	キッズ・チアダンス教室	平成30年4月～平成31年3月	リハーサル室	子供たちがチアダンスの基礎を楽しみながら学びます。 (対象:キッズクラス/年中園児～小学1年生、ジュニアクラス/小学2～6年生)
2	キッズ・スポーツクラブ	平成30年4月～平成31年3月	アリーナ	いろいろな道具を使って体を動かす事を楽しみながら、運動やスポーツに慣れ親しみ、スポーツが大好きな子供たちを育成します。 (対象:幼児クラス/年中・年長園児、ジュニアクラス/小学1～3年生)
3	ストレッチ教室	平成30年4月～平成31年3月	フィットネスルーム	トレーニングルーム利用者を対象に無理なく体を動かして、柔軟に運動できる健康な身体づくりにつながるよう月5～6回実施。
4	50歳からのいきいき運動教室	平成30年4月～平成31年3月	アリーナ	50歳以上の方を対象に、気軽に行える運動を中心に構成したプログラムにより、ストレス解消と健康な生活リズムを取り戻してもらいます。
5	夏休みかけっこ教室	平成30年 8月1日(水)～3日(金)	アリーナ	走ることはスポーツの基本です。速く走るコツを3日間かけて体で覚えて、スポーツが大好きな子供たちを育成します。小学1・2年生と3・4年生のクラスを実施。
6	キッズ・なわとび!	平成30年度	アリーナ	なわとびはリズム感や瞬発力、持久力など、スポーツにおける基礎的な能力が身に付く、理想的な運動です。なわとびで楽しく体を動かし、子供たちの運動能力を高めます。
7	西日本クライミング選手権 シーハットカップ2018 <共催事業>	平成30年 6月10日(日)	サブアリーナ	東京オリンピックの競技に採択され人気急上昇。シーハットの特長的施設を利用した恒例スポーツイベントとして西日本エリアを対象に参加者を募り開催します。

②自主事業(文化事業)

	事業名	開催期日	場所・会場	内 容
1	立川談春 独演会 2018 <共催事業>	平成30年4月28日(土) 13時開演	さくらホール	落語界きっての異端児として知られた師匠立川談志のもと修行を重ね、今もつともチケットが取れない落語家と言われている立川談春の落語をお届けします。
2	長崎OMURA室内合奏団 第25回定期演奏会	平成30年5月19日(土) 14時開演	さくらホール	今回で2度目となる元ベルリンフィルのソロ・オーボエ奏者ハンスイェルク・シェレンバルガーとの共演。プログラム:モーツァルト/ディヴェルティメント ニ長調、ドヴォルザーク/セレナード ニ短調、ブラームス/弦楽六重奏曲第2番ト長調
3	ハウステンボス歌劇団 大村公演	平成30年6月30日(土) 14時開演予定	さくらホール	昨年公演で、さくらホールを満席にした人気の「ハウステンボス歌劇団」が今年も華麗で豪華なレビューショーをお届けします。
4	長崎OMURA室内合奏団 ミュージック・キャンプ <共催事業>	平成30年 8月9日(木)～12日(日)	さくらホール	東京芸術大学教授松原勝也氏をはじめ一流の講師と合奏団メンバーによる補助講師が県内で弦楽器を学んでいる子供たちに4日間集中指導して、その成果を最終日にコンサートとして披露します。
5	開館20周年記念 市民ミュージカル 時間よ、生まれ!	平成30年 8月18日(土)・19日(日)	さくらホール	なわとびパフォーマンス、ラップ、不要品で奏でるパーカッション、歌あり笑いありの市民ミュージカル。演出家中村龍史と市民が2年をかけて作り上げたエンターテインメントを提供します。
6	長崎OMURA室内合奏団 公開リハーサル <共催事業>	平成30年8月30日(木)	さくらホール	結成15周年を迎える長崎OMURA室内合奏団、初の福岡公演を開催するに先立ち、市民に無料で「公開リハーサル」を行い、優れたクラシック音楽の鑑賞機会を提供します。
7	半崎美子 コンサート <共催事業>	平成30年9月16日(日)	さくらホール	歌うと会場のどこかで必ず涙を流す人がいる。話題の「泣き歌の女王」半崎美子がさくらホールのステージに立ちます。
8	池上彰氏 講演会 <共催事業>	平成30年10月28日(日)	メインアリーナ	解りやすい解説で人気のジャーナリスト池上彰が「池上彰のニュースから世界を読み解く」と題し、メインアリーナを会場に開催します。
9	第22回大村寄席	平成30年11月20日(火)	さくらホール	今年の大村寄席は落語・漫才・紙切りなどを提供します。 出演:柳家喬太郎、古今亭文菊、林家二楽他
10	長崎OMURA室内合奏団 第26回定期演奏会 <共催事業>	平成30年12月15日(土) 14時開演予定	さくらホール	松原勝也の弾き振りによる演奏でお届けする定期演奏会。 出演:松原勝也、長崎OMURA室内合奏団
11	名作映画上映会	平成30年度	さくらホール	文化庁のフィルム・ライブラリーから選ばれた邦画の名作を上映します。
12	郷土の歴史的人物に関する 教育資料作成	平成30年度		郷土の偉大な先人を取り上げ、コミック本を作成し市内児童生徒たちに配布し、「郷土への愛着を醸成する」事業。

③市外公演(受託事業)

	事業名	開催期日	場所・会場	内 容
1	赤い花の記憶 ～天主堂物語	平成30年7月21日(土) 14時開演予定	長崎 ブリックホール	世界文化遺産候補の大浦天主堂をテーマにした市民ミュージカルを出演者を再度公募し上演します。

2 収支予算書

平成30年度 予算書

(正味財産増減計算書)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[1,000]	[1,000]	[0]
② 受託事業収益	[217,435,896]	[223,160,820]	[△ 5,724,924]
③ 自主事業収益	[26,303,000]	[23,785,000]	[2,518,000]
④ 雑収益	[152,000]	[152,000]	[0]
経常収益計	243,891,896	247,098,820	△ 3,206,924
(2) 経常費用			
① 事業費	[242,852,096]	[246,080,310]	[△ 3,228,214]
② 管理費	[1,039,800]	[1,018,510]	[21,290]
経常費用計	243,891,896	247,098,820	△ 3,206,924
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	7,567,583	7,507,042	60,541
一般正味財産期末残高	7,567,583	7,507,042	60,541
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	9,567,583	9,507,042	60,541

平成30年度 予算書

(正味財産増減計算書・小科目表示)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[1,000]	[1,000]	[0]
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
② 受託事業収益	[217,435,896]	[223,160,820]	[△ 5,724,924]
指定管理受託料収益	214,038,000	220,227,000	△ 6,189,000
管理業務受託料収益	3,397,896	2,933,820	464,076
③ 自主事業収益	[26,303,000]	[23,785,000]	[2,518,000]
受取会費	900,000	900,000	0
入場料収益	8,352,000	17,164,000	△ 8,812,000
参加料収益	2,793,000	3,121,000	△ 328,000
受託料収益	8,750,000	0	8,750,000
受取補助金収益	5,100,000	2,300,000	2,800,000
販売手数料等収益	408,000	300,000	108,000
④ 雑収益	[152,000]	[152,000]	[0]
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	150,000	150,000	0
経常収益計	243,891,896	247,098,820	△ 3,206,924
(2) 経常費用			
① 事業費	[242,852,096]	[246,080,310]	[△ 3,228,214]
役員報酬	6,682,500	6,682,500	0
給料手当	68,389,290	65,918,130	2,471,160
賃金	7,425,000	10,194,000	△ 2,769,000
退職給付費用	0	396,000	△ 396,000
福利厚生費	13,221,740	13,540,870	△ 319,130
旅費	2,183,230	2,651,230	△ 468,000
光熱水費	50,175,000	50,633,000	△ 458,000
修繕費	11,466,000	16,253,000	△ 4,787,000
消耗品費	5,589,200	4,351,200	1,238,000
燃料費	292,000	175,000	117,000
食糧費	275,000	359,000	△ 84,000
通信運搬費	832,900	1,328,900	△ 496,000
手数料	713,210	1,278,710	△ 565,500
保険料	580,500	580,500	0
印刷製本費	1,080,250	2,180,250	△ 1,100,000
諸謝金	25,000	400,000	△ 375,000
公演料	6,473,000	14,164,000	△ 7,691,000
広告宣伝料	638,000	1,970,000	△ 1,332,000
委託料	56,705,500	42,140,000	14,565,500
使用料及び賃借料	2,619,900	3,220,900	△ 601,000
負担金補助及び交付金	219,000	319,000	△ 100,000
租税公課	7,265,876	7,344,120	△ 78,244
② 管理費	[1,039,800]	[1,018,510]	[21,290]
役員報酬	252,500	252,500	0
給料手当	562,710	539,370	23,340
退職給付費用	0	4,000	△ 4,000
福利厚生費	105,260	104,130	1,130
旅費	1,770	1,770	0
消耗品費	16,800	16,800	0
食糧費	10,000	10,000	0
通信運搬費	7,100	7,100	0
手数料	1,790	1,790	0
印刷製本費	4,750	4,750	0
使用料及び賃借料	20,100	20,100	0
租税公課	57,020	56,200	820
経常費用計	243,891,896	247,098,820	△ 3,206,924
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	7,567,583	7,507,042	60,541
一般正味財産期末残高	7,567,583	7,507,042	60,541
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	9,567,583	9,507,042	60,541

平成30年度 予算書内訳表

(正味財産増減計算書内訳表)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	その他会計 (受託事業)							法人会計	内部取引 消去	合 計
	実施事業等会計 (継続事業)	体育文化センター	体育施設	松山テニスコート	総合運動公園	自 主	小 計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,000]		[1,000]
② 受託事業収益	[0]	[175,294,200]	[37,707,000]	[592,056]	[2,805,840]	[0]	[216,399,096]	[1,036,800]		[217,435,896]
③ 自主事業収益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[26,303,000]	[26,303,000]	[0]		[26,303,000]
④ 雑収益	[0]	[150,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[150,000]	[2,000]		[152,000]
経常収益計	0	175,444,200	37,707,000	592,056	2,805,840	26,303,000	242,852,096	1,039,800		243,891,896
(2) 経常費用										
① 事業費	[650,000]	[167,794,200]	[37,707,000]	[592,056]	[2,805,840]	[33,303,000]	[242,202,096]	[0]		[242,852,096]
② 管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,039,800]		[1,039,800]
経常費用計	650,000	167,794,200	37,707,000	592,056	2,805,840	33,303,000	242,202,096	1,039,800		243,891,896
当期経常増減額	△ 650,000	7,650,000	0	0	0	△ 7,000,000	650,000	0		0
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	[650,000]	[△ 7,650,000]	[0]	[0]	[0]	[7,000,000]	[△ 650,000]	[0]		[0]
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0
一般正味財産期首残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	10,532,083		7,567,583
一般正味財産期末残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	10,532,083		7,567,583
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000
III 正味財産期末残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	12,532,083		9,567,583

科 目	実施事業等会計 (継続事業)		その他会計 (受託事業)						法人会計	内部 取引 消去	合 計
	シーハット感謝デー	体育文化センター	体育施設	松山テニスコート	総合運動公園	自 主	小 計				
委託料	350,000	32,547,000	1,924,000	0	0	21,884,500	56,355,500	0		56,705,500	
使用料及び賃借料	0	1,989,900	570,000	0	0	60,000	2,619,900	0		2,619,900	
負担金補助及び交付金	0	219,000	0	0	0	0	219,000	0		219,000	
租税公課	0	5,644,980	1,368,000	44,056	208,840	0	7,265,876	0		7,265,876	
② 管理費	[0] [0] [0] [0] [0] [0] [0] [1,039,800]		[1,039,800]	
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	252,500		252,500	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	562,710		562,710	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	105,260		105,260	
旅費	0	0	0	0	0	0	0	1,770		1,770	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	16,800		16,800	
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	10,000		10,000	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	7,100		7,100	
手数料	0	0	0	0	0	0	0	1,790		1,790	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	4,750		4,750	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	20,100		20,100	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	57,020		57,020	
経常費用計	650,000	167,794,200	37,707,000	592,056	2,805,840	33,303,000	242,202,096	1,039,800		243,891,896	
当期経常増減額	△ 650,000	7,650,000	0	0	0	△ 7,000,000	650,000	0		0	
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
他会計振替額	[650,000] [△ 7,650,000] [0] [0] [0] [7,000,000] [△ 650,000] [0] [[0] [
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
一般正味財産期首残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	10,532,083		7,567,583	
一般正味財産期末残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	10,532,083		7,567,583	
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	
III 正味財産期末残高	0	△ 1,368,253	△ 1,590,226	0	△ 11,273	5,252	△ 2,964,500	12,532,083		9,567,583	